

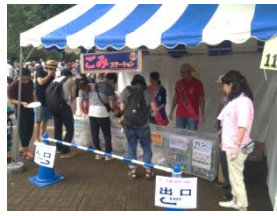
三鷹国際交流フェスティバルに

学生 60 名がボランティアで参加しました！



平成 28 年 9 月 25 日、井の頭恩賜公園西園文化交流広場および野球場周辺で「三鷹国際交流フェスティバル」が開かれました。外国語学部の坂本ゼミと八木橋ゼミ、公認クラブのボランティア団体 feel やマンガ研究会、国際交流会、三鷹国際交流協会

でインターンシップを行った 2 名も加わり、合計 60 名の学生がボランティアとして参加しました。カルタやコスプレ、ヨーヨーつり、ゴミの分別収集など幅広い活動でイベントを支援し盛り上げました。フェスティバルは 4 万 9,000 人の人出で賑わい盛況裡に終了し、主催者の三鷹交際交流協会から本学学生たちの活動に対し感謝の言葉が寄せられました。



三鷹市総合防災訓練のメイン会場で、BLS 体験訓練コーナーを担当しました。



平成 28 年 11 月 6 日(日) 三鷹市立中原小学校で開催されました。

三鷹市の防災訓練は、毎年 7 つの住区の会場のうち一つをメイン会場とし、市、警察、消防、自衛隊及び医療機関などの防災関係機関の全面的な協力で開催しています。今回、三鷹市から参加者に正しい BLS の方法等を学んでもらう事を目的に、本学の保健学部救急救命学科が依頼を受け BLS の体験訓練コーナーを担当しました。当日は三鷹市立第五中学校の生徒 12 名に協力してもらいながら、教員 3 名、学生 13 名が、約 600 名の住民に対して指導を実施しました。

東京弘済園まつりに、

BLS 指導と吹奏楽団の演奏とスタッフ補助で学生が参加しました！

平成 28 年 11 月 3 日 東京弘済園まつりが行われました。毎年、地域との交流を図るお祭りとして親しみを持たれています。本学からは保健学部の学生 8 名が BLS 指導を実施しました。また吹奏楽団の演奏が披露され、スタッフのサポートや体力測定補助などで学生ボランティアが多数参加しました。

BLS 体験の参加者から「優しい学生さんから BLS 指導を受けて分かりやすかった」「気軽に BLS 体験ができる雰囲気良かった」などの声がありました。一方、吹奏楽団の演奏に参加された高齢者の方から「懐かしい歌を聴いて胸が熱くなりました。今日は来て良かったです」などの声も聞くことができました。



地域交流活動かわら版

2016/11/16 地域交流課 vol.20

株式会社アトレと地域貢献パートナーに関する協定を締結しました。

本学は、JR 東日本との駅ビル共同開発などを手掛ける株式会社アトレと地域貢献パートナーに関する協定を締結しました。

協定締結式は 9 月 26 日、杏林大学井の頭キャンパスで行われ、株式会社アトレから取締役の井上浩司店舗マネジメント事業部長、菊池久 CSR 推進室長、半坂高志店舗マネジメント事業部担当部長など 7 名が、杏林大学から跡見裕学長、ポール・スノードン副学長、地域交流推進室長の古本泰之外国語学部准教授など 13 名が出席しました。

atré株式会社アトレ 杏林大学 地域貢献パートナー協定 締結式



現在、アトレヴィ三鷹と総合政策学部、外国語学部、保健学部の教員・学生が進めている、食・情報・駅などをテーマにした 12 のプロジェクトの概要と主な活動事例がアトレヴィ三鷹 佐々木玄氏よりスライドで紹介されました。活動の第一弾として、10 月 7 日には地域のイベント情報やアトレヴィ三鷹のフロアガイドを紹介した街のガイドブック「みたから」が発行しました。さらに、11 月 7 日と 21 日にはキノクニヤヴィノキッチンで「新酒ワインを楽しむ夕べ」が開催されます。

跡見学長は「杏林大学は医療・保健系の学部を母体発展し、現在は人文社会科学系の学部も有する総合大学となりました。このパートナーシップをもとに大学の持つ資源や人材を三鷹市や住民に還元したいと思っています」と述べ、アトレヴィ三鷹との活動を今後さらに充実させ、地域に貢献してゆくことを約束しました。



アトレヴィ三鷹とコラボで作成したガイドブック「みたから」を発行



総合政策学部 進邦ゼミの学生 5 人が、三鷹地域のガイドブック「みたから」をアトレヴィ三鷹との協働事業の第 1 弾として発行しました。「みたから」は、地域で活躍する方や話題の店を学生が取材する連載コーナーや市内を巡るウォークラリーなどの地域イベントのほか、アトレヴィ三鷹のフロアガイドも付いている情報誌です。今回、連載コーナーで NPO 法人武蔵野スポーツクラブ理事長の塩野芳男さんに総合政策学部の荒木健太さん(3 年)が初めてインタビューに挑戦しました。

「インタビューは初めての経験で緊張しましたが、私もサッカーをしていたので、塩野さんと楽しく話げできました。地元との交流を大切にしているようですが、サッカー教室などで選手の技術を間近で見るとは、子どもたちにとってとてもいい機会。チャンスがあれば試合を観に行きたい」と取材の感想を話してくれました。



荒木健太さん

アトレヴィ三鷹×地域×本学の協働事業が展開しています

第1回 新酒ワインを楽しむ夕べを開催しました！



アトレヴィ三鷹北口1Fの改札外にある「キノクニア ヴィノ キッチン」にて総合政策学部 内藤先生が案内役となり開催されました。

1回目となる11月7日(月)18:00~20:00には、『山梨ヌーボーフェスタ』~日本の誇り「甲州ワイン」と「甲州料理」のマリアージュ~をテーマに開催しました。蒼龍葡萄酒(株)のワインソムリエと一緒に、すっきりさわ

かで上品な甲州ワインと美味しい甲州料理を参加者の皆様に楽しんで頂きました。

第2回目は11月21日(月)18:00~20:00「飲みくらべヌーボーフェスタ」~ヌーボーの飲み比べ



とおすすめ料理に舌鼓~を予定しています。募集人数は各回40名で、事前予約が必要となります。

華道展示企画とのコラボレーションが実現！



メニュースタンド

進行中のアトレヴィ三鷹×地域×本学学生のプロジェクト

●情報コミュニケーション● ガイドブック「みたから」次号の発行に向けて！



次号の発行に向け総合政策学部 進邦ゼミの学生9名が企画を検討中です。打合せに参加した学生からは「次号が春に向けての発行なので、お花見情報や季節の変わり目などを意識しつつ、買い物が楽しくなるような工夫を盛り込みたい」と感想がありました。緊張の中にも和やかな打合せが繰り広げられています。現在、アトレヴィ三鷹と協働しながら、地域の方々へ取材を行っています。

●生き生きコミュニケーション● 花と共に季節を愛でよう。生け花の展示！



保健学部と華道部の学生を中心としたメンバーが、イベントスペースを活用して華道の展示と生け花の実演パフォーマンスを企画中です。生け花を担当する保健学部の学生が「保健学部の楠田先生などに指導して頂きながら、皆様に喜んで頂ける生け花を創作中です」と笑顔で話をしてくれました。年末12月28日(予定)の実施日に向け、皆さんに親しんで貰えるような生け花を準備中です。

●生き生きコミュニケーション● 小学生による「はじめてのお店屋さん」

外国語部の古本ゼミの学生7名が地域の小学生と協働で行う「はじめてのお店屋さん」を提案しました。小学生がお菓子の製作・販売を実際に体験する企画で、アトレヴィ三鷹と幾度もプレゼンテーションを重ねながら、最終調整を行っています。企画を担当している学生が「一つ一つ丁寧に検討を重ねて進めています。他の活動との時間調整が厳しい時もありましたが、ようやく形が見えてきました」と経過を報告してくれました。メンバー全員がひとつとなって、完成を目指して頑張っています。



●駅コミュニケーション● 駅からハイキング

外国語部の志村ゼミの学生が企画する「駅からハイキング」が、三鷹駅をスタートするコースで制作中です。タイトル(案)は「三鷹発文豪達の散歩道」。来年の2月の実施に向け最終確認を行っています。

約5.5時間かけてまわるコースです。開催中には志村ゼミの学生によるキャンパス案内や学生が同行する日程も組み込まれています。企画に携わっている学生が「三鷹市内を何度も歩いています。歩くたびに新しい発見があるので楽しいです」と感想を語ってくれました。



その他、食コミュニケーション企画として、北林先生・古本ゼミによる

- ・「おふくろの味」プロジェクト……47都道府県の味を週替わり弁当で提供予定
- ・「チョイのみ」プロジェクト……食と地酒を楽しむことができる企画

情報・交流コミュニケーションとして、八木橋ゼミによる

- ・「BOOK・ソムリエ」プロジェクト……杏林大学生監修のBOOKコーナー設置予定

などなど、アトレヴィ三鷹×地域の皆さん×本学学生=地域活性化を目指したプロジェクトが展開中です。

Event



井の頭100祭のイベントに 学生が参加し活躍しました！

今年「かがやく」をテーマに開催された井の頭100祭のイベントに、企画から当日のサポートまで担当した外国語部の学生を始め、当日のボランティアとして

保健学部・総合政策学部の学生が多数参加しました。初日には、体調を崩された方のケアを偶然居合わせた保健学部のボランティアの学生が適切に対応する場面もあり、日ごろの学習の成果が実践で役立つ一幕もありました。

また、ステージではマジックサークルやダンス部Slaveのメンバーが、訪れた皆さんへ、パフォーマンスで「かがやき」を披露しました。

